

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
4年	<p>活動内容に意欲をもち、のびのびとした発想で、楽しみながら表現に取り組んでいる。自分の感じたことや友人の作品のよさや面白さによく気が付き、素直に言葉にすることができる。一方で、自分の活動よりも、教師との関わりや評価を求める傾向が一部の児童に見られるので、表現にじっくり向き合えるようにしていくことが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味をもって、主体的に活動に取り組める題材を設定するとともに、個別の声かけに力を入れ、作品に対する子どもの思いが深まるよう、個人の制作に寄り添った声かけを行う。 ・環境設定に気を配りながら、相互鑑賞の機会を多く設定し、自分や友人の作品のよさや面白さにより深く迫れるように指導を行っていく。
5年	<p>新しい材料や技法に興味・関心をもって意欲的に活動に取り組んでいる。また、自分らしい工夫を作品に取り入れ、個性を生かしながら表現に取り組んでいる。一方、表現を広げたり深めたりする活動で、集中が継続しない場面が一部の児童に見られる。学習意欲を持続させて活動に取り組めるようにしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想力をさらに伸ばしていけるよう、題材設定を工夫し、児童が主体的に取り組めるように教材研究を行っていく。 ・材料や用具などからのアプローチと、声掛けや鑑賞を通した内面からのアプローチの両面から、作品に対する子どもの思いが深まるよう、個々に合わせた支援を行っていく。
6年	<p>題材のテーマや材料としっかりと向き合い、自分らしい工夫を作品に取り入れようと試行錯誤しながら表現に取り組むことができている。クラスごとに雰囲気や個別の配慮が異なるので、安全面やルールをしっかりと確認した上で、一人一人が集中して表現に取り組める環境作りを行っていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題材設定を工夫し、児童が主体的に意欲をもって取り組めるように教材研究を行っていく。 ・個別の声掛けに力を入れ、一人一人の思いに寄り添って指導をする。 ・学級担任とも連携をとり、児童の発達段階や個性を見極めて支援をしていく。